

令和5年度

安曇野市水道事業会計  
安曇野市下水道事業会計  
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)



## 目 次

### 令和5年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	2
配水及び給水費（上水道課 維持係、管理係）	3
総係費（経営管理課 庶務担当）	4
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	5
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、上水道課 管理係）	6
その他営業費用（経営管理課 庶務担当）	7
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	8
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	9
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	10
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	11
配水設備工事費（上水道課 工務係、維持係）	12
量水器費（上水道課 管理係）	13
固定資産購入費（上水道課 管理係、経営管理課 庶務担当）	14
改良費（上水道課 管理係）	15
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	16

### 令和5年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きょ費（下水道課 下水道担当）	18
処理場費（下水道課 下水道担当）	19
浄化槽費（下水道課 下水道担当）	20
農業集落排水費（下水道課 下水道担当）	21
受託工事費（下水道課 下水道担当）	22
総係費（経営管理課 庶務担当）	23
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	24
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、下水道課 下水道担当）	25
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	26
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	27
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	28
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	29
管きょ工事費（下水道課 下水道担当）	30
流域下水道事業費（下水道課 下水道担当）	31
排水設備工事費（下水道課 下水道担当）	32
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	33



# 安曇野市水道事業会計

課・係等 上水道課 維持係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	原水及び浄水費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	349,616					349,616
前年度	220,510					220,510
増減額	129,106	0	0	0	0	129,106

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水します。
- ・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページに公開します。
- ・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努めます。

【効果】

- ・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修・診断を行い、取水の安定性を高めます。
- ・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努めます。
- ・配水池内の清掃を計画的に行い、安心して快適な水道水の供給に努めます。

【一般財源増加理由】 水道施設電気料の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	55	水源地管理用品				
10	光熱水費	48	下水道使用料				
13	委託料	24,749	水質検査業務等、水道施設除草業務、配水池不断水清掃点検業務、電気料ESP業務サービス等				
14	手数料	99	ハチの巢除去				
16	修繕費	22,000	CVCFバッテリー取替修繕、施設設備修繕				
31	動力費	297,275	水道施設電気料				
32	薬品費	5,390	次亜塩素酸ナトリウム				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施します。 安全で安心な飲料水を供給することができます。	13	委託料	14,168	
					計	14,168	
					計	0	

課・係等 上水道課 管理係 維持係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	配水及び給水費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	252,168					252,168	
前年度	273,908					273,908	
増減額	△ 21,740	0	0	0	0	△ 21,740	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組みます。
- ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図ります。
- ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努めます。

【効果】

- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・明科地域の漏水調査を行います。
- ・地図情報システムのデータ更新を行います。
- ・検満メーターの計画的な交換を行います。
- ・配水施設の的確な維持管理を行います。
- ・配水管等の破管修理を迅速かつ的確に行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	833	職員研修・出張旅費等	15	賃借料	1,050	水源用地等賃借料、積算システム利用料等
8	備消耗品費	736	配水・給水関連消耗品、水道水ペットボトル等	16	修繕費	64,349	検定満期量水器修繕、給配水管修理工等、車検等整備代
9	燃料費	910	公用車燃料代	19	保険料	717	公用車自動車共済、自賠責保険料、建物共済
11	印刷製本費	203	メーター交換連絡票印刷代等	23	研修費	1,125	職員研修費
12	通信運搬費	10,554	専用回線、施設電話料等	25	負担金	7,380	退職手当負担金等
13	委託料	65,822	漏水調査業務、上水道台帳GIS更新業務等、検定満期量水器取替業務、緊急修理待機業務等	35	工事請負費	6,545	量水器・給水管等移設工事 消火栓等移設工事
14	手数料	500	保菌検査、公用車法定点検手数料等	その他		91,444	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、公課費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	漏水調査業務	明科地域の漏水調査を実施し、漏水箇所早期発見修理により、水道水の流失を防ぎ、有収率の向上を図ります。	13	委託料	5,500
					計	5,500
2					計	0

予算書ページ	28
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	総係費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	175,371					175,371
前年度	182,670					182,670
増減額	△ 7,299	0	0	0	0	△ 7,299

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	給料	23,051	職員給料	13	委託料	97,973	上下水道料金徴収業務、コンビニ納付書用プリンタ設定業務、企業会計システム保守等
5	報酬	175	上下水道事業経営審議会委員報酬	14	手数料	6,129	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等
6	旅費	91	職員研修・出張旅費	15	賃借料	7,006	上下水道料金システム使用料、本庁舎・堀金支所建物等使用料、企業会計システム使用料等
7	被服費	41	作業着等	16	修繕費	330	ハンディターミナル修理
8	備消耗品費	975	一般事務用品、コピー用紙、新聞代等	23	研修費	171	職員研修費
11	印刷製本費	4,022	料金・経理関係用紙等印刷	25	負担金	6,521	本庁舎・堀金支所管理経費、日本水道協会正会員費、長野県水道協議会会費、退職手当負担金等
12	通信運搬費	5,910	後納郵便料等、コンビニ収納通信電話料、直通電話料	その他		22,976	手当、法定福利費、法定福利費引当金繰入額、賞与引当金繰入額、賞倒引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	収納率向上対策	料金センターとの連携により催告及び徴収方法等を指示し、徴収率を上げていく。移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上下水道事業経営を安定的に維持します。	13	委託料	96,316
				14	手数料	9
				23	研修費	171
					計	96,496
2						
					計	0



予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	減価償却費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,051,591				265,068	786,523
前年度	1,053,620				265,582	788,038
増減額	△ 2,029	0	0	0	△ 514	△ 1,515

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	265,068							

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産減価償却費	1,051,591	建物、構築物、機械及び装置、車輛及び運搬具、工具・器具・備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当  
上水道課 管理係

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	27,241					27,241
前年度	23,860					23,860
増減額	3,381	0	0	0	0	3,381

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。
- ・明科会田川橋上流水管橋撤去工事…現在使用されていない水管橋が会田川を横断し民地に配管されおり、土地所有者より撤去を求められていることから処分を行います。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・明科会田川橋上流水管橋撤去工事

【一般財源増加理由】 明科会田川橋上流水管橋撤去工事等による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	4,175	土地、構築物				
54	固定資産除却費	23,066	明科地域減圧槽解体工事、明科会田川橋上流水管橋撤去工事、消火栓撤去工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	その他営業費用		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	14				13	1
前年度	17				17	0
増減額	△ 3	0	0	0	△ 4	1

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	材料売却収益	13							

【目的・効果】

・水道メーターの破損等に伴い、貯蔵量水器から売却したメーター原価を売却原価として振替えるものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
56	材料売却原価	14	材料売却原価(量水器)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	80,765					80,765
前年度	93,890					93,890
増減額	△ 13,125	0	0	0	0	△ 13,125

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息です。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
58	企業債利息	80,765	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	42,071					42,071
前年度	72,580					72,580
増減額	△ 30,509	0	0	0	0	△ 30,509

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	42,071	水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,500					1,500
前年度	2,000					2,000
増減額	△ 500	0	0	0	0	△ 500

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・漏水修理減免申請により、過年度水道料金調定額に調定更正が発生した場合に費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	1,500	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1					1
前年度	156					156
増減額	△ 155	0	0	0	0	△ 155

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 上水道課 工務係 維持係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	配水設備工事費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源					一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金
本年度	1,039,687	61,017					70,628
前年度	776,927	51,782					64,726
増減額	262,760	9,235	0	0	0	0	5,902

  

特定財源の内訳	款	1	工事負担金	金額	70,628	合計金額
	1	国庫補助金	金額	61,017		
					131,645	

【目的・効果】

【目的】

- ・拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図ります。
- ・老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心で安全な水道水の供給を図ります。

【効果】

- ・管路を耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れます。
- ・漏水等が解消され有収率の改善が見込めます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・濁度計設置工事設計：(穂高上原)
- ・主要管路整備：(穂高)DIP φ75~150 L=2,000m (三郷)DIP φ75~150 L=1,400m
- ・豊里水源対策：(穂高)DIP φ200 L=1,140m
- ・配水管(老朽)布設替工事：(豊科)DIP φ100 1路線 L=200m (穂高)HPPE φ50~75 2路線 L=520m (三郷)HPPE φ50 1路線 L=400m (明科)DIP・HPPE φ75~250 2路線 L=900m 他

【一般財源増加理由】 補助対象事業以外の工事が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	91,707	濁度計設置工事設計業務、主要管路布設等工事設計業務、穂高豊里整備事業設計業務、既存管路(老朽管)布設等工事設計業務、国道19号歩道整備関連事業配水管設計業務、国道403号(仮)線倉鹿沢2号橋添架配水管設計業務等				
25	負担金	51,700	舗装復旧負担金等				
30	路面復旧費	34,950	路面復旧工事				
35	工事請負費	860,780	主要管路布設等工事、既存管路(老朽管)布設等工事、既存施設更新事業、黒沢川赤沢橋仮設配水管布設工事、負担金工事等				
37	補償費	550	岩原配水池敷地拡張に伴う立木補償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	主要管路整備事業	拠点配水池に接続する送水管や重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができます。	13	委託料	11,979
				35	工事請負費	286,550
				37	補償費	550
					計	299,079
2	ハード	濁度計設置事業	地震発生時に井戸の濁水を検知し、取水を制限することができ、濁りのない安定した水を確保することができます。	13	委託料	3,355
					計	3,355



課・係等 上水道課 管理係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	量水器費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,100					1,100
前年度	1,953					1,953
増減額	△ 853	0	0	0	0	△ 853

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・340個の量水器を購入します。  
**【内訳】**  
 ・φ13 330個 (豊科80個、穂高140個、三郷80個、堀金20個、明科10個)  
 ・φ20 10個 (豊科5個、穂高5個)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
34	量水器費	1,100	新設メーター購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等  
 上水道課 管理係  
 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	固定資産購入費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	8,839					8,839
前年度	2,941					2,941
増減額	5,898	0	0	0	0	5,898

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- ・水源地見回りと、緊急時資材運搬するための公用車を購入します。
- ・コンビニ納付書印刷用のレーザープリンター及びシーラー機が耐用年数超過のため、更新します。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・公用車を1台購入します。
- ・レーザープリンター2台及びシーラー機1台を購入します。
- ・主要管路整備を目的とした岩原配水池場内の導配水管耐震化にを伴を図るため、敷地拡張に伴う用地取得を行います。

【一般財源増加理由】 固定資産の購入が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
48	車輛及び運搬具	2,200	公用車購入				
49	工具・器具・備品	2,319	コンビニ収納用プリンター他購入				
71	土地	4,320	岩原配水池敷地拡張に伴う用地取得				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	岩原配水池敷地拡張に伴う用地取得	71	土地	4,320
			場内に埋設されている水源からの導水管及び配水池からの配水管の耐震化を行うための敷地拡張			
					計	4,320
2						
					計	0

課・係等 上水道課 管理係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	改良費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	295					295
前年度	641					641
増減額	△ 346	0	0	0	0	△ 346

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・新たにφ75mm以上の水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・φ75mm以上の量水器を2個購入します。  
**【内訳】**  
 φ75 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)  
 φ100 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
77	工具機械器具改良費	295	大口径新設メータ購入費(φ75mm以上)				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	584,514					584,514
前年度	597,554					597,554
増減額	△ 13,040	0	0	0	0	△ 13,040

  

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
61	企業債元金償還金	584,514	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

## 安曇野市下水道事業会計

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	管きよ費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,142,026	0	0	0	0	1,142,026
前年度	1,045,113	0	0	0	0	1,045,113
増減額	96,913	0	0	0	0	96,913

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・下水道管路施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全が図れます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・市が管理する下水道施設の維持管理を包括的に委託します。(明科浄化センター及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
- ・長野県が管理する犀川安曇野流域下水道に係る維持管理費の一部を負担します。
- ・前年度の管路等新設箇所のデータを下水道台帳に登録するための業務を委託します。
- ・下水道施設の維持補修を行います。

【一般財源増加理由】 エネルギー価格の上昇に伴い、犀川安曇野流域下水道維持管理負担金単価が改定されたための増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	487	研修旅費、出張旅費等	15	賃借料	338	積算システム利用料等
8	備消耗品費	272	工事等積算関係図書、公用車タイヤ代等	16	修繕費	18,424	管路等維持管理補修費、車検等整備代
9	燃料費	718	公用車燃料代	19	保険料	148	公用車保険料
11	印刷製本費	93	マンホールカード印刷、メーター交換連絡票印刷	20	公課費	17	自動車重量税
12	通信運搬費	159	直通電話及び携帯電話使用料	23	研修費	346	職員研修費
13	委託料	105,915	下水道処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、下水道台帳データ更新業務等	25	負担金	965,238	流域下水道維持管理負担金、松川浄水苑負担金等
14	手数料	168	公用車法定点検手数料等		その他	49,703	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務を専門知識を有する業者へ委託することにより、適正な汚水流下能力が確保されます。	13	委託料	89,460
					計	89,460
1	ソフト	流域下水道維持管理負担金事務	流域下水道施設の維持管理費を負担することで、安定した事業運営がされます。	25	負担金	960,833
					計	960,833

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	処理場費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	44,301	0	0	0	0	44,301
前年度	39,962	0	0	0	0	39,962
増減額	4,339	0	0	0	0	4,339

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・明科浄化センターの維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。  
**【効果】**  
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全が図れます。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・明科浄化センターの維持管理を包括的に委託します。(下水道管路施設及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)  
 ・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】 維持管理業務委託における人件費及び光熱水費の上昇に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	44,163	処理施設等維持管理業務、脱水汚泥処分業務等				
19	保険料	138	明科浄化センター建物共済				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	明科浄化センターの維持管理業務を専門知識を有する業者へ委託することにより、適正な汚水処理がされます。	13	委託料	35,445
					計	35,445
2						
					計	0

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	浄化槽費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,284	0	0	0	0	2,284
前年度	2,157	0	0	0	0	2,157
増減額	127	0	0	0	0	127

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・豊科大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)を適正に維持管理するため。  
**【効果】**  
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全が図れます。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・施設の保守点検を委託します。  
 ・法定点検及び汚泥の汲み取りを行います。

【一般財源増加理由】 汚泥汲み取り件数が増加したための増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	79	浄化槽放流水減菌剤等				
13	委託料	457	合併処理浄化槽保守点検業務				
14	手数料	912	汚泥汲み取り料、合併浄化槽法定検査手数料等				
16	修繕費	500	処理槽等修繕				
25	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	農業集落排水費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	59,734	0	0	0	0	59,734
前年度	60,498	0	0	0	0	60,498
増減額	△ 764	0	0	0	0	△ 764

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・明科地域の農業集落排水処理施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。  
**【効果】**  
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全が図れます。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・農業集落排水処理場及び管路施設の維持管理を包括的に委託します。(公共下水道施設を含めた総合一括管理委託)  
 ・4箇所(押野、川西、中村、生野)の処理場から発生する汚泥の引搬運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	58,648	処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、汚泥引搬運搬業務、処理場基礎調査業務				
14	手数料	118	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料等				
16	修繕費	891	管路等維持管理補修費				
19	保険料	77	処理場建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道施設維持管理事業(業務委託)	農業集落排水施設の維持管理業務を専門知識を有する業者へ委託をすることにより、適正な汚水流下能力の確保と汚水処理がされます。	13	委託料	44,808
					計	44,808
2						
					計	0

予算書ページ	64
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	受託工事費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	7,287	0	0	0	7,286	1
前年度	3,938	0	0	0	3,938	0
増減額	3,349	0	0	0	3,348	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	7,286							

【目的・効果】

【目的】

・公共工事の推進に寄与するため。

【効果】

・支障となる下水道施設の工事を先行させることにより、公共工事が安全かつ円滑に進められます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・事業主体との施設移転等補償協議に基づき、支障となる下水道施設(管きよ・公共ます・マンホール等)の移設、撤去、高さ調整等の工事を行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
16	修繕費	7,287	公共ます等移設、マンホール高さ調整等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	6	総係費		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	118,815	0	0	0	0	118,815
前年度	123,481	0	0	0	0	123,481
増減額	△ 4,666	0	0	0	0	△ 4,666

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・下水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

**【当該年度の事業概要(手法)】**

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	給料	9,589	職員給料	13	委託料	726	企業会計システム保守
2	手当	4,019	職員手当	14	手数料	4,662	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等
6	旅費	153	職員研修・出張旅費等	15	賃借料	1,760	本庁舎建物等使用料、受益者負担金システム使用料、企業債管理システム使用料、高速道路使用料
7	被服費	16	作業着等	22	報償費	1,800	受益者負担金前納報奨金
8	備消耗品費	258	一般事務用品等	23	研修費	171	職員研修費
11	印刷製本費	2,021	料金・経理関係用紙等印刷	25	負担金	81,333	日本下水道協会会費、本庁舎管理経費、使用料徴収業務委託事務負担金等
12	通信運搬費	3,058	接続率向上ダイレクトメール郵送料、後納郵便料、料金受取人払郵便料	その他		9,249	法定福利費、報酬、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額、貸倒引当金繰入額

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	水洗化率向上対策	未接続者へのダイレクトメールの発送等により下水道接続促進に取り組み、水洗化率向上を目指し、使用料収入の増加に努めます。	12	通信運搬費	310	
					計	310	
2	ソフト	収納率向上対策	訪問折衝や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は滞納処分を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持します。	12	通信運搬費	88	
				14	手数料	28	
				23	研修費	171	
					計	287	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ 66

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	7	減価償却費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,858,979	0	0	0	764,645	1,094,334
前年度	1,860,206	0	0	0	770,282	1,089,924
増減額	△ 1,227	0	0	0	△ 5,637	4,410

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	764,645							

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 長期前受金戻入額の減少による増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産減価償却費	1,675,890	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具・備品				
52	無形固定資産減価償却費	183,089	流域下水道施設利用権				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当  
下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	8	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	4,443	0	0	0	0	4,443
前年度	1,922	0	0	0	0	1,922
増減額	2,521	0	0	0	0	2,521

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

**【目的・効果】**  
 ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。  
 ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

**【当該年度の事業概要(手法)】**

【一般財源増加理由】 固定資産除却の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
53	固定資産除却損	4,139	構築物、機械及び装置				
54	固定資産除却費	304	構築物・公共ます撤去費用				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	396,342	0	0	0	0	396,342
前年度	444,936	0	0	0	0	444,936
増減額	△ 48,594	0	0	0	0	△ 48,594

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 ・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の支払利息です。  
 ・一時借入金の支払利息です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額	主な内容		節 節名称		金額	主な内容	
58	企業債利息	396,200				定期償還分、資本費平準化債分					
59	借入金利息	142				一時借入分					

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	41,477	0	0	0	0	41,477
前年度	58,389	0	0	0	0	58,389
増減額	△ 16,912	0	0	0	0	△ 16,912

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・下水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	41,477	下水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	550	0	0	0	0	550
前年度	700	0	0	0	0	700
増減額	△ 150	0	0	0	0	△ 150

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・水道の漏水修理減免申請により、過年度下水道使用料調定額に調定更正が発生した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	550	過年度下水道使用料修正損(調定更生発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



課・係等 経営管理課 庶務担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	管きよ工事費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	578,655	280,500	0	142,000	140,200	15,955
前年度	109,986	48,200	0	48,100	0	13,686
増減額	468,669	232,300	0	93,900	140,200	2,269

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	142,000							
1	国庫補助金	280,500								
1	他会計出資金	140,200								

【目的・効果】

【目的】

・健全で効率的な施設整備により、衛生的で快適な生活環境を実現するため。

【効果】

- ・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図れます。
- ・既存施設の長寿命化と処理施設の統廃合を進めることにより、施設の修繕費や改築更新費が縮減されることで、健全かつ効率的な事業運営が見込まれます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・明科地域の下水道施設統廃合により、単独公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区の汚水を長野県が管理する犀川安曇野流域下水道の幹線管渠へ接続する工事を行います。
- ・下水道の整備は、平成30年度までに概ね完了していますが、処理区域内の受益地において、負担金は納入されているが公共ますが設置されていない箇所を対象に、公共ます新設工事を行います。
- ・既存管の沈下により、汚水の流下に支障がある管渠の布設替え工事を行います。

【一般財源増加理由】 下水道施設統廃合の工事着手に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	96,943	下水道施設統廃合接続管路実施設計業務、現場技術業務(積算、監督)				
35	工事請負費	293,227	下水道施設統廃合接続管路工事、公共ます未設置箇所解消工事、管路布設替え工事				
37	補償費	188,485	下水道施設統廃合接続管路工事等に伴う上水道補償等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	下水道施設統廃合事業	明科地域の下水道処理施設を段階的に統廃合し、下水道事業の経営健全化を図ります。	13	委託料	96,943
				35	工事請負費	277,574
				37	補償費	186,483
					計	561,000
					計	

課・係等 下水道課 下水道担当

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	流域下水道事業費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	115,747	0	0	112,000	0	3,747
前年度	134,169	0	0	122,500	0	11,669
増減額	△ 18,422	0	0	△ 10,500	0	△ 7,922

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	112,000							

【目的・効果】

・長野県が施行する犀川安曇野流域下水道事業に係る建設改良費の一部を負担金として支出します。(流域下水道事業費から国費を除く地方負担額のうち、事業主体である長野県が50%、地元自治体である安曇野市と松本市が残り50%を負担します。)

【当該年度の事業概要(手法)】

令和5年度事業(県計画)	地元建設負担金 (安曇野市・松本市)	左記のうち、 安曇野市負担金
交付金事業		
水質保全(低率)	20,000 千円	5,000 千円 4,545 千円
地震対策(低率)	60,000 千円	15,000 千円 13,635 千円
地震対策(高率)	66,000 千円	11,000 千円 9,999 千円
水質保全(高率)	286,182 千円	47,697 千円 43,357 千円
資源水質(低率)	40,000 千円	10,000 千円 9,090 千円
交付金事務費	69,386 千円	34,693 千円 31,536 千円
県単事業	7,888 千円	3,944 千円 3,585 千円
計	549,456 千円	127,334 千円 115,747 千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	負担金	115,747	犀川安曇野流域下水道事業建設負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
	目	3	排水設備工事費		施策	上下水道の安定経営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	964	0	0	0	0	964
前年度	1,184	0	0	0	0	1,184
増減額	△ 220	0	0	0	0	△ 220

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・井水メーターを設置し、井戸利用者の汚水排除量を計量するため。

【効果】

・井戸利用者の汚水排除量を的確に把握することで、下水道使用料の算定に反映させることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

・井水メーター購入及び設置工事を行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
34	量水器費	113	井水メーターΦ13～Φ30				
35	工事請負費	744	井水メーター設置工事等				
36	改良費	107	大型井水メーターΦ75				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	効果
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	72
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,518,431	0	0	684,000	0	1,834,431
前年度	2,498,824	0	0	491,000	0	2,007,824
増減額	19,607	0	0	193,000	0	△ 173,393

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	資本費平準化債	684,000							

【目的・効果】

・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
61	企業債元金償還金	2,518,431	定期償還分、資本費平準化債分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



